

一般質問



湖南市活性化へ



みらいの風 ● 望月 卓 議員

問 ウツクシマツ育成に今取り組むことは。

答 現行の3つの担当部署から、専用の窓口を設置し、現地の枯れたシンボルの松の撤去を3月までに行い、現地のゾーン区分けを、他所で育成された松の移植育成ゾーン、現在ある松の育成ゾーンや、発芽育苗ゾーンの設置などを考えています。



市民の思い松は緑に!!

問 市内事業者の育成に入札時に市内事業者の優遇策導入についての見解・方針は。

答 本市の指名業者の選定は、市内事業者の育成や地域経済の活性化を目的として、市内事業者を優先するよう配慮しているところです。

湖南市契約規則に基づき、該当する市内事業者が5者以上あれば、原則、市内事業者のみでの入札を行っています。令和元年度の建設

工事発注は、49件の指名競争入札の内、46件は、市内事業者のみに入札を行いました。今後さらには市内事業者への受注機会が一層確保できるように具体的な検討を重ねて行きたいと考えています。

問 県では、職員採用に際し、知識と経験を生かし庁内の活性化や効率化を図る面から、採用年齢の上限を45歳までとしています。本市の対応はされていますか。

答 年齢上限はそこまでの設定はありませんが、今後の採用に向けて検討したいと考えています。



出産から終活まで安心して暮らせるまちに!!



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

終活支援について

問 人が亡くなった後の「死後事務」とは。

答 死亡届の提出、火葬及び埋葬手続き、入院費清算、健康保険や年金手続き、預金通帳の解約など、様々な事務手続きのことで、親族がいらない場合、生前から準備が必要です。

問 身寄りのない「おひとりさま」の終活支援について

答 相談支援の中でエンディングノートを配布し、終活を考える機会として提供しています。また「高齢者・障がい者のための無料法律相談」の活用を推進しています。



問 自治会配布の「命のバトン」にエンディングノートの保管場所を記入しては。

答 「命のバトン」の救急医療情報紙に記入は可能で、死後の支援につながります。

災害時の母子保健対策
問 避難所等での妊産婦・乳幼児の支援について

答 要配慮者の特性に応じた配慮として、乳幼児は、ベビーベッドを用意。退行現象、夜泣き、吃音、不眠チエツクなどの症状に留意し、精神的安定が図れるように配慮します。ミルク用の湯、哺乳瓶の清掃、沐浴の手だての確保などに留意。妊産婦は、安静に休息ができるスペースや搾乳、授乳できるスペースを設けるとなっています。

その他、認知症高齢者等個人賠償保険の導入について、「湖南市子ども未来助成金」の期日延長について、を質問しました。